

令和8年5月22日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
内閣官房長官

各宛て

神戸市会議長 よこはた 和幸

皇室の安定的皇位継承に関する国会論議の促進を求める意見書

悠仁親王殿下におかれては、令和7年9月、秋篠宮皇嗣殿下以来、40年ぶりとなる男性皇族として成年を迎えられました。9月6日の「加冠の儀」をはじめ、成年式関連の諸儀式及び諸行事が滞りなく執り行われましたことは、誠に慶賀に堪えないところであります。

悠仁親王殿下は、皇位継承順位第2位であり、将来、皇位を継承されることが想定されていることから、当面の皇位継承については一定の安定性が確保されているものと考えられます。

一方で、皇族数の減少が進む中、現行制度のままでは、将来にわたる皇位継承の安定性に懸念が生じています。

政府から国会に検討の要請がなされて以来、長期間にわたり議論が続けられているものの、いまだ具体的な方向性は示されていません。

よって、国におかれては、安定的な皇位継承に向けた国会における論議を早急に進めるとともに、建設的かつ具体的な検討を深め、国民への丁寧な説明を行いながら、その在り方について早期に方向性を示されるよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。